

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1433	報告者	後藤隆徳
年月日	2010年11月21日(日)	2万5千	七面山
山名	山梨・七面山(三角点=1982m、最高点=1989m)		
体力度=4・やや厳しい 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=坊にあり 展望度=よい 三角点名=七面山 等級=二等			
<h1>修験者と共に上る山</h1>			
コースとタイム	下土狩5:00-角瀬-白糸滝発7:18-敬慎院-七面山10:26-最高点-下山開始11:35-奥の院-裏参道-角瀬・ひのや旅館14:15		
標高差	上り 白糸滝約500m~七面山最高点1989m=約1489m 下り 七面山1982m~角瀬約320m=約1662m		
参加者	L後藤隆徳、村山忠彦、ほか		



この山は、98年忘年山行で上った。参加者は17名。懐かしい名前が並ぶが、既に10名が退会している。やはり組織は生きものなのだ。

白糸滝山門から出発。早朝だが山々には早出修験者の「南無妙法蓮華経」が響く。前を「駕籠」が上っていた。病気が怪我かと思ったら、乗っていたのは大師・上人と称される高僧だった。上から若い信者が

お経を唱えながら、沢山下りて来た。学生さんのようである。

この山は頂上まで標高差1500m近くあり、標高差的には厳しい山。しかし、上ってみると案外上り易い。信者が沢山上るので、登山道が極めて効率よく出来ている。この日は、遊びながらで頂上まで3時間8分だった。12年前は3時間10分だったから、案外変わらないものだ。

天気は無風快晴。ついでにこの先の1989mの最高峰まで足を伸ばす。余り訪れないのか特に標識はなかった。

頂上で昼食・休憩後下山。大ガレを覗く。12年前の会報の写真を見ると、ガレの脇まで行けたが今は通行禁止になっている。それだけ崩壊が進んでいるのだろう。

裏参道を下る。ここは落ち葉ガサゴソの静かで素敵な道だ。途中、奥の院に交替で勤める若い僧上って来た。聞けば、近隣の寺の若い僧が月2回・4日程勤めるそうだ。

角瀬(すみせ)まで2時間ちょっと。ここの「すみや旅館」で入浴。大ばあさんは、何だかんだサービス満点だった。

